

波 崎 東 部 地 域 活 性 化 基 本 構 想



*East
hasaki*

神 栖 市

令 和 5 年 3 月

目次

01	はじめに	01
1-1	波崎東部地域活性化基本構想策定の背景・目的	01
02	波崎東部地域の現状の整理	03
2-1	人口	03
2-2	施設	03
2-3	観光	03
2-4	地域資源	04
2-5	地元住民のご意見	06
03	課題の整理・取組の方向性	07
04	コンセプト	08
05	基本方針	09
5-1	地域の現状を踏まえたゾーンの設定	10
5-2	各ゾーンと周辺自治体との回遊性促進	24
5-3	まちづくり組織の設立検討	26
06	事業計画	27
6-1	事業主体	27
6-2	事業スケジュール	28

01 はじめに

1-1 波崎東部地域活性化基本構想策定の背景・目的

平成27年度に策定した「神栖市人口ビジョン」を基にした「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重点プロジェクト②イメージアップ・定住促進プロジェクトの一環として「まちのにぎわいづくりプラン」が令和3年3月に策定されました。この「まちのにぎわいづくりプラン」に基づき、定住人口・交流人口・関係人口の拡大により地域の活性化を図ることを目的とした「息栖神社周辺整備基本計画」と「神之池緑地整備基本計画」が令和4年3月に策定されました。

令和4年度はこれらの計画に続き、本市の最東部に位置する波崎東部地域(主に日の出町・豊ヶ崎・明神前)を対象とした波崎東部地域活性化基本構想を策定します。この基本構想は、魅力的な地域資源や公共施設などを活用し、市内でも人口減少や高齢化が顕著な当地域へ市内外から多くの方々に訪れていただくことにより、にぎわいを創出し、定住人口・交流人口・関係人口の拡大による地域の活性化を図ることを目的としています。

波崎東部地域活性化基本構想策定までの流れ

平成27年度

- ・神栖市人口ビジョン
- ・神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略

市全体・市内他地域の施策
波崎東部地域の施策

平成28年度

- ・波崎東明神周辺地区住環境整備事業
(平成28年度～令和7年度)

平成30年度

- ・波崎東部地区の「再生」と「にぎわいづくり」に関する提言書
(波崎東部地区にぎわいづくり懇話会)

令和元年度

- ・波崎東部地域活性化に関するアンケート調査
(波崎東明神周辺地区住環境整備事業)

令和2年度

- ・まちのにぎわいづくりプラン
- ・波崎東部市営住宅建替基本構想
- ・体育施設整備事業基本計画(はさきマリンプール)

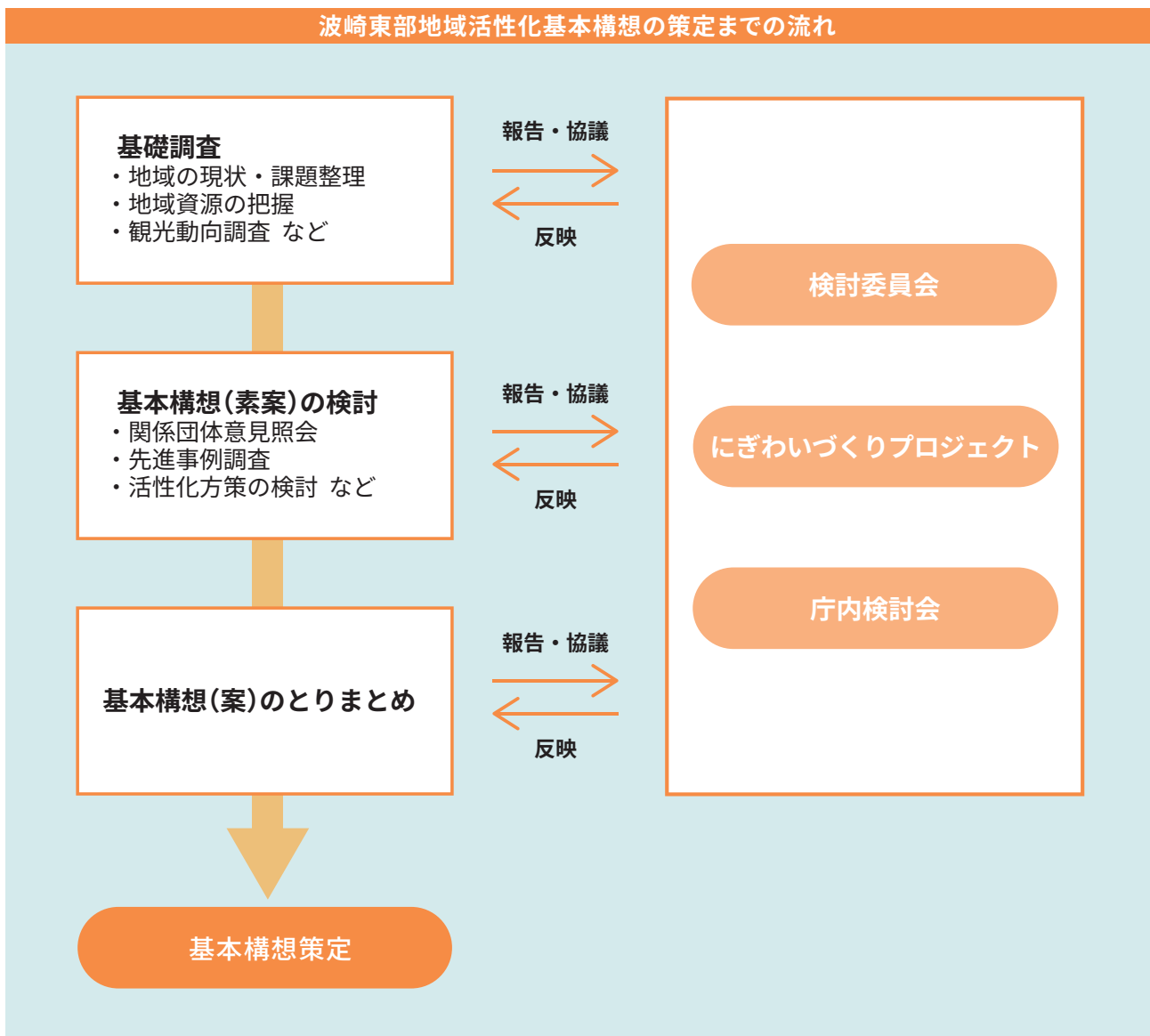
令和3年度

- ・息栖神社周辺整備基本計画
- ・神之池緑地整備基本計画

令和4年度

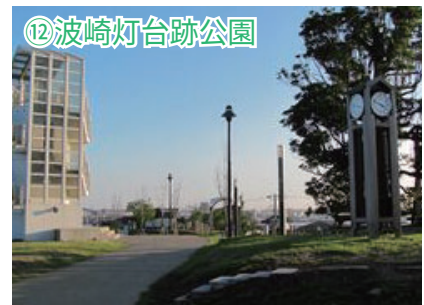
- ・波崎東部地域活性化基本構想

基本構想の策定にあたっては、「基礎調査」や「基本構想(素案)の検討」などの各段階で地元関係組織の方々のご意見を伺う「波崎東部地域活性化基本構想検討委員会」、住民の方々のご意見を伺う「波崎東部にぎわいづくりプロジェクト」、市役所内関係課で課題等を共有して施策を検討する「庁内検討会」を各3回開催し、ご意見を反映しながら進めてまいりました。



2-4 地域資源

波崎東部地域は、「スポーツ・レクリエーション施設」や「公園」などをはじめ、様々な地域資源を有しています。



スポーツ レクリエーション

- ① 波崎海水浴場
- ② サンサンパーク
- ③ 波崎体育館
- ④ 豊ヶ浜フットサル場
- ⑤ はさきマリンプール
- ⑥ 豊ヶ浜野球場

公園

- ⑦ 波崎海岸砂丘植物公園
- ⑧ 童子女の松原公園
- ⑨ 豊ヶ浜運動公園
- ⑩ 明神公園
- ⑪ 仲町公園
- ⑫ 波崎灯台跡公園
- ⑬ 漁村広場
- ⑭ 豊ヶ浜児童公園
- ⑮ 波崎かもめ公園

文化・交流

- ⑯ はさき生涯学習センター
- ⑰ 波崎東ふれあいセンター用地

教育・子育て

- ⑱ 波崎小学校
- ⑲ 波崎こども園

市営住宅

- ⑳ 豊ヶ崎住宅
- ㉑ (仮称)波崎東部市営住宅

その他施設

- ㉒ 手子后神社
- ㉓ 河畔プロムナード
- ㉔ 親水公園
- ㉕ 波崎新港
- ㉖ 中州
- ㉗ 銚子大橋
- ㉘ 風車
- ㉙ 鹿島灘
- ㉚ 利根川

行事・イベント

- ① 茨城波崎SURFING GAMES (8月頃)
- ① きらっせ祭り (8月頃)
- ⑨ 波フェス Hasaki Music Festival (8月頃)
- ⑳ 手子后神社節分祭 (2月頃)、大潮祭 (7月頃)

その他の様々な資源

- ・夏涼しく、冬温かく過ごしやすい気候
- ・1年を通じて吹く風
- ・利根川や鹿島灘、日の出や夕日などの自然景観
- ・利根川越しに見る銚子市の夜景
- ・多様な自然や生物とふれあうことができる環境 など

㉑ (仮称)波崎東部市営住宅
(完成予想図)



㉒ 手子后神社



㉓ 河畔プロムナード



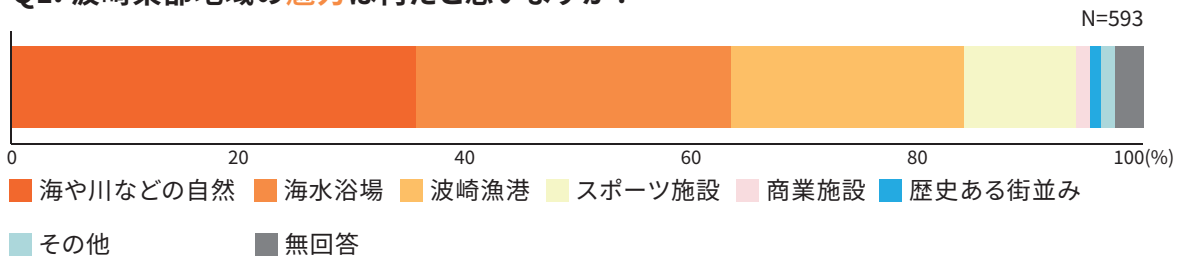
2-5 地元住民のご意見

令和元年度に行った「波崎東部地域活性化に関するアンケート調査（波崎東明神周辺地区住環境整備事業）」では、波崎東部地域の魅力として「海や川などの自然」や「海水浴場」、課題として「商店の不足」や「医療・福祉などのサービスが不十分」、どのようなまちになるとより良くなるかとして「若い世帯が住みやすいまち」や「高齢者が住みやすいまち」の回答率が高くなっています。

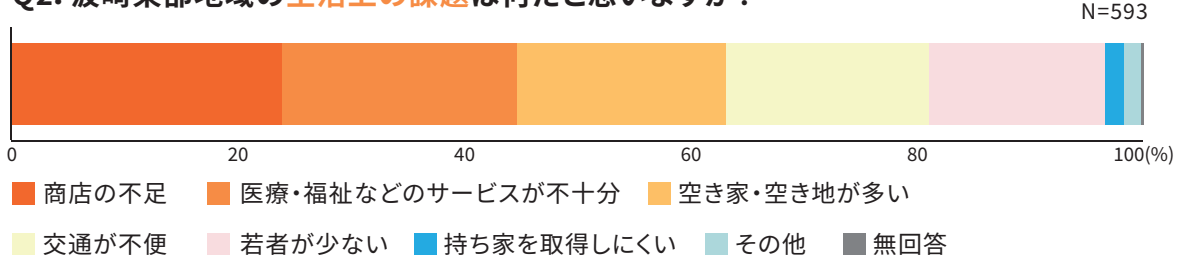
また、平成30年度には、「波崎東部地区の再生」と「にぎわいづくり」に関する提言書が、地域に関連する組織の代表者から構成された「波崎東部地区にぎわいづくり懇話会」より提出されました。提言書では、「波崎東部地区の再生」、「海のにぎわいづくり」、「海が見えるエリアの魅力づくり」として、市有地の活用や海の活性化などの必要性が示されています。

波崎東部地域活性化に関するアンケート調査結果

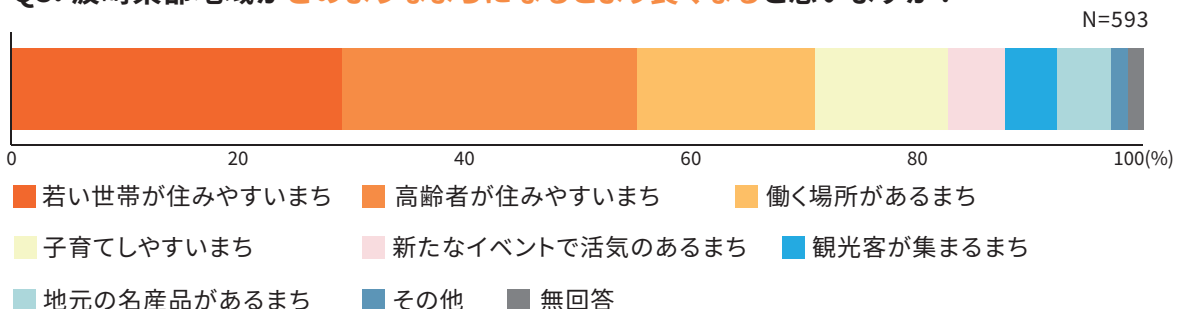
Q1. 波崎東部地域の魅力は何だと思えますか？



Q2. 波崎東部地域の生活上の課題は何だと思えますか？



Q3. 波崎東部地域がどのようなまちになるとより良くなると思えますか？



03 課題の整理・取組の方向性

波崎東部地域の現状から、波崎東部地域の課題を整理し、取組の方向性を決めました。

課題

- ▶ 「スポーツ合宿」・「海水浴」・「釣り」で集客があるものの、その人たちが「ついでに訪れる施設」が波崎東部地域内に少ない状況です。また、「スポーツ合宿」・「海水浴」・「釣り」以外の目的での来訪も少ないです。
- ▶ 様々なスポーツ競技を実施できる環境を有していますが、さらなる利用を促進する必要があります。
- ▶ 劣化が進んだ施設や利用者が減少している施設が存在します。また、公共施設の建替・撤去等により余剰地が発生します。
- ▶ 人口減少による生活環境水準の低下が危惧されます。

取組の方向性

既存資源の魅力向上

- ・ 立地環境を活かした目的地となる飲食店等の創出
- ・ 海水浴場を活用した観光振興
- ・ 夏季以外の海水浴場の有効活用
- ・ 釣り客など、既存の関係人口が立ち寄ることができる施設の整備
- ・ 写真映えする観光スポットの発掘、発信
- ・ 周辺の地域資源と連携した観光振興
- ・ 地域が主体となった観光振興体制の構築

ポテンシャルを活かしたスポーツ振興

- ・ 海水浴場の利便性、快適性向上による集客、回遊性創出
- ・ サーフィンと相性がよいスケートボードなどの新興スポーツの拠点化
- ・ 豊ヶ浜運動公園の利便性、快適性向上
- ・ スポーツ合宿の利便性、快適性向上による集客、回遊性創出
- ・ ナショナルサイクルルートと連携し、サイクリング拠点やサイクリング環境の向上によるサイクリストの集客

公共施設の適切な更新・活用

- ・ 市営住宅建替により発生する活用可能地の有効活用
- ・ 波崎東ふれあいセンター用地、はさき生涯学習センターの活用
- ・ 老朽化が進行する施設の更新
- ・ 低未利用施設の機能追加や用途変更、更新等による有効活用

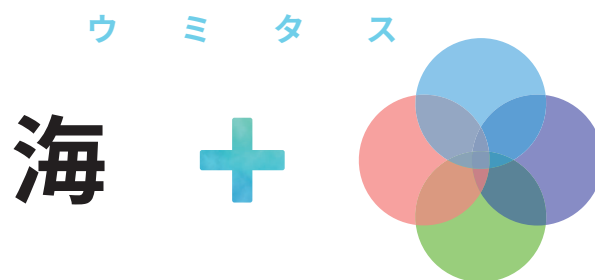
住環境・生活環境の充実

- ・ 子育て世帯、若者夫婦が安心して子育てができる環境づくり
- ・ 高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- ・ 空き家・空き地の有効活用
- ・ 食料品や生活必需品等を購入できる商業施設の充実
- ・ 医療機能の充実

04 コンセプト

波崎東部地域活性化基本構想のコンセプト

ウミダス
海の恵みが生み出すにぎわい



地域の象徴であり、地域内外の人々が魅力と感じている波崎東部地域の「海」を中心に、にぎわいを創出し「住む人」、「訪れる人」、波崎東部地域に「関わる人」の心を満たす(海+満たす)地域を目指します。



4つの円は、各ゾーンとそれぞれのアクティビティである「ふれあう」、「くらす」、「あそぶ」、「かんじる」を表しており、それらと海を足し合わせることで波崎東部地域の縁(円)をつくりだします。

05 基本方針

3つの基本方針

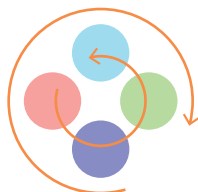
地域の現状を踏まえたゾーンの設定

波崎東部地域の特色ごとに「コミュニティ・交流ゾーン」、「移住・定住ゾーン」、「スポーツ・レクリエーションゾーン」、「自然体感ゾーン」の4つのゾーンを設定し、各ゾーン別に方針を定めます。



各ゾーンと周辺自治体との回遊性促進

地域内の回遊性を促進するため、ゾーン間をサイクリングコースで「つなぐ」ことや、神栖市内や周辺自治体の地域資源と波崎東部地域を「つなぐ」ことにより、広域的な回遊性の促進を図ります。



まちづくり組織の設立検討

波崎東部地域の継続的なにぎわい創出のため、また様々な人のアイデアをにぎわい創出に活かすことができるように、地域の「ひと」を中心としたまちづくり組織の設立を検討します。



ゾーン位置図

海 +

ふれあう

1. コミュニティ・交流ゾーン

住民同士や地域と観光客が「ふれあう」波崎東部地域の拠点となるゾーン

くらす

2. 移住・定住ゾーン

子育て世帯や高齢者が安心して「くらす」ことができる市営住宅を中心とした居住ゾーン

あそぶ

3. スポーツ・レクリエーションゾーン

海に関連したスポーツやレクリエーションで「あそぶ」ことができるゾーン

かんじる

4. 自然体感ゾーン

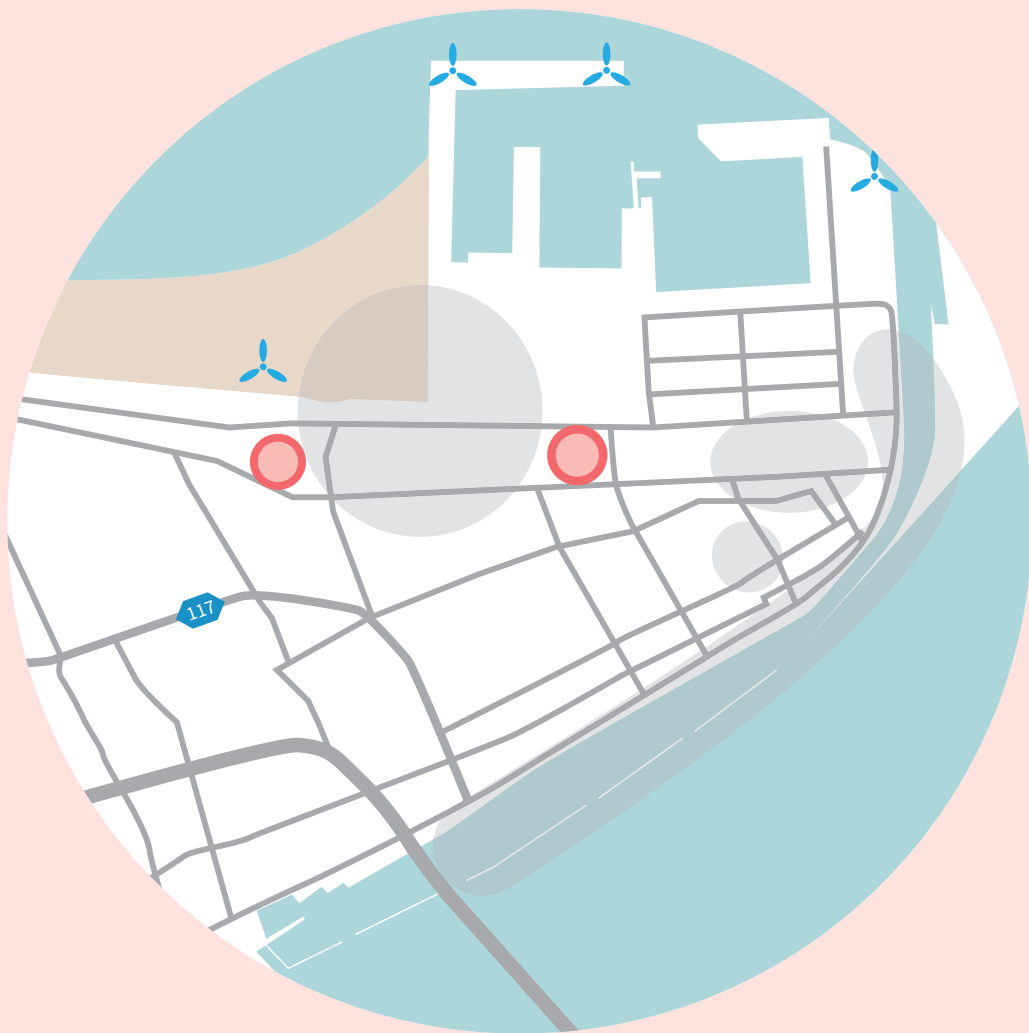
自然フィールドを活用し、自然を「かんじる」アクティビティを行うことができるゾーン



1

コミュニティ・交流ゾーン

海 + ふれあう



波崎東ふれあいセンター用地と はさき生涯学習センターの活用

地元住民の方からは「商店(スーパーマーケット)が遠い」、「医療施設が遠い」、「気軽に住民同士の交流ができる施設が欲しい」などのご意見がありました。また波崎東部地域には、観光客などが気軽に食事できる場所やお土産を購入できる店が多くありません。そこで、「住民のための生活拠点」、「観光客等のための交流拠点」の両機能を兼ね備えた拠点施設として、波崎東ふれあいセンター用地及びはさき生涯学習センターの活用を検討します。



©NTT InfraNet,Maxar Products.©Maxar Technologies.

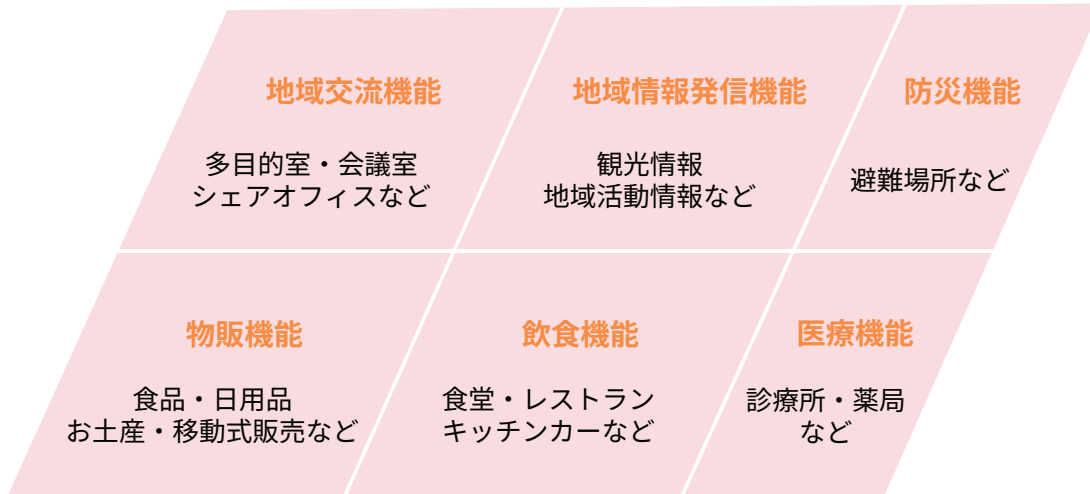


はさき生涯学習センター



波崎東ふれあいセンター

導入機能の例



	地域住民	観光客・リピーター等
地域交流機能	地域活動・世代間交流	移住相談・リモートワーク
地域情報発信機能	観光情報 地域活動の発信	観光情報 地域活動の情報収集
防災機能	災害時の避難場所	災害時の避難場所
物販機能	食料品・日用品の購入	お土産の購入
飲食機能	日常的な利用	昼食などで利用
医療機能	かかりつけ医の受診 医薬品の購入	—

2

移住・定住ゾーン

海 + くらす



市営住宅建替に伴う活用可能地の分譲・サービス付き高齢者向け住宅・シェア農地等の整備

波崎東部市営住宅建替基本構想(令和3年3月)に基づき、東町住宅の建替を実施しています。東町住宅の建替に伴い活用可能地が生まれることから、「子育て世帯、若者夫婦が安心して子育てができる環境づくり」、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」を目指して、子育て支援住宅やサービス付き高齢者向け住宅、多目的な利用が可能なオープンスペースなどの整備を検討します。



©NTT InfraNet, Maxar Products. ©Maxar Technologies.

	活用可能地①	活用可能地②
特徴	・津波による浸水が生じにくい	・津波による浸水の恐れがある
活用方法	・子育て支援住宅 ・若い世帯向けの分譲地 ・サービス付き高齢者向け住宅 ・多目的利用が可能なオープンスペース など	・シェア農地(サービス付き高齢者向け住宅居住者や地元住民向け) など



(仮称)波崎東部市営住宅完成予想図

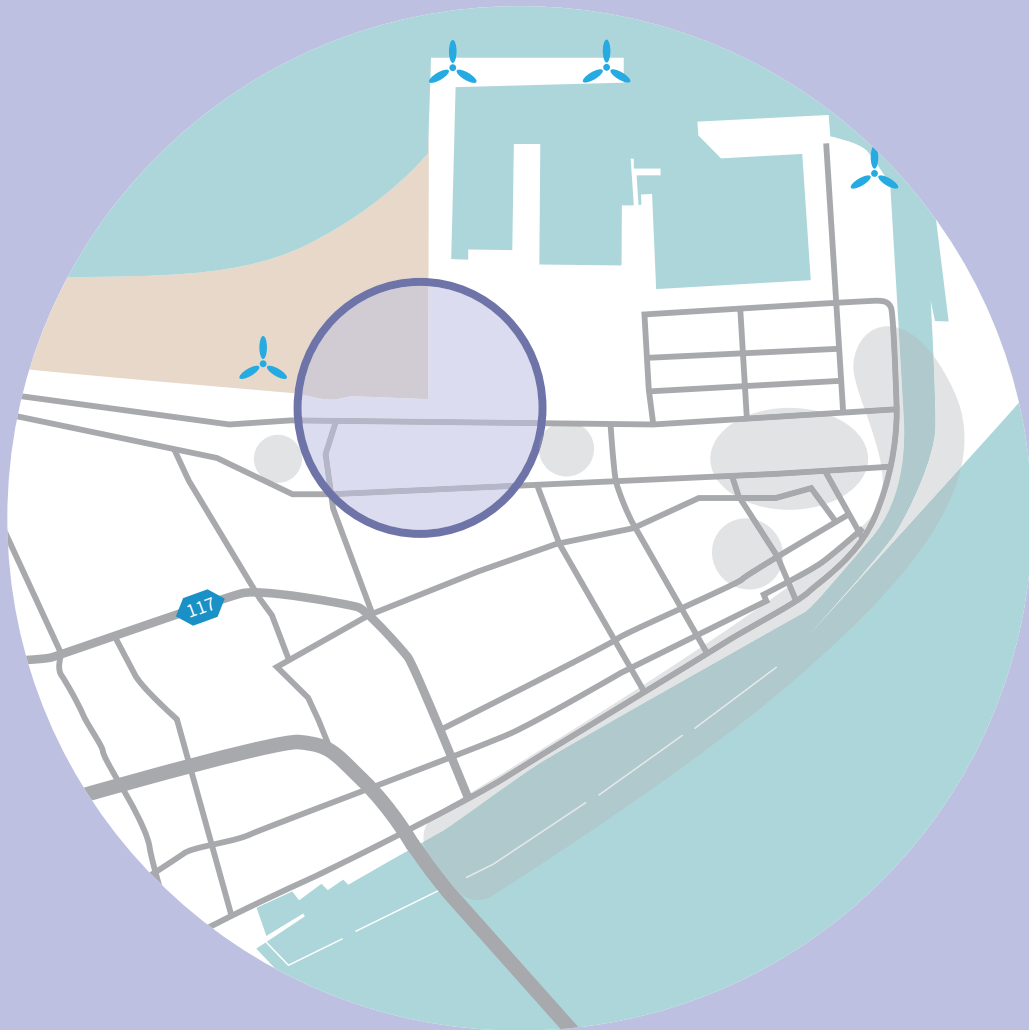


子育て支援住宅のイメージ

3

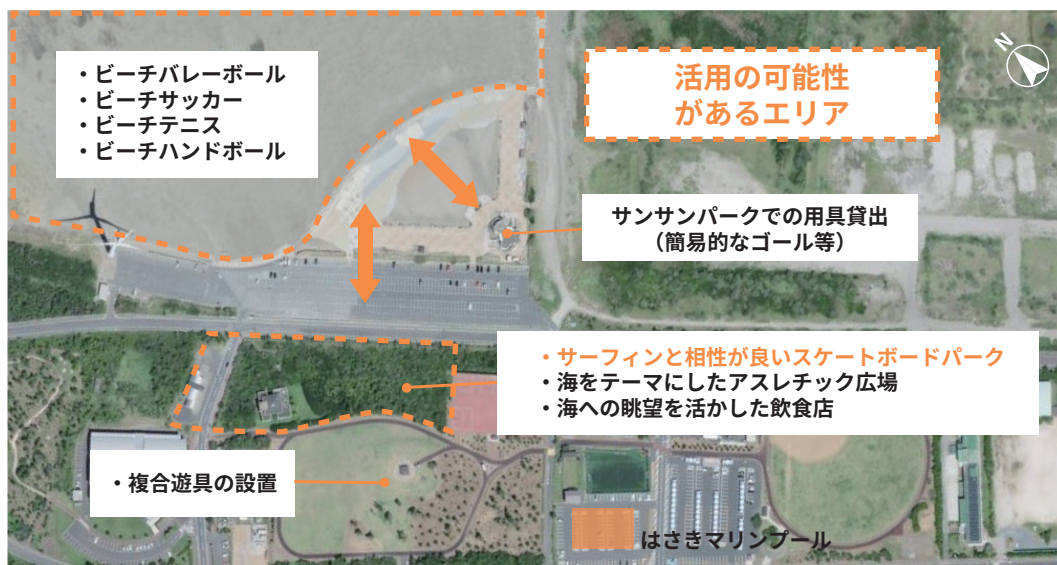
スポーツ・レクリエーションゾーン

海 + あそぶ

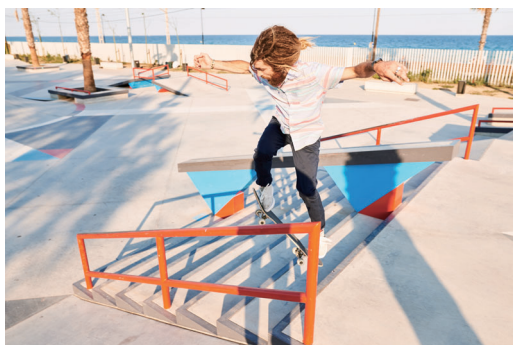


豊ヶ浜運動公園周辺未利用地の活用

豊ヶ浜運動公園に隣接する周辺用地の活用を検討します。活用方法は、「サーフィンとの相性が良いスケートボードパーク」や「海をテーマにしたアスレチック広場」などが考えられます。また、波崎海水浴場をビーチスポーツ広場として開放し、豊ヶ浜運動公園と合わせて多種多様なスポーツを行うことができる「海のスポーツ公園」として整備することを検討します。



©NTT InfraNet, Maxar Products. ©Maxar Technologies.



スケートボードパークのイメージ



ビーチスポーツ広場のイメージ



飲食店のイメージ



アスレチック広場のイメージ

波崎海水浴場の魅力向上

レジャーの多様化により全国的に「海離れ」が進んでいます。波崎海水浴場の入込客数も年々減少傾向にあり、「選ばれる海水浴場」としての魅力向上が重要となります。そこで、老朽化しているサンサンパーク(トイレ、デッキなど)の改修や飛砂対策、駐車場の通年利用促進、周辺施設との連携など、波崎海水浴場の魅力向上に資する対策の検討を行います。



©NTT InfraNet,Maxar Products.©Maxar Technologies.



サンサンパーク



海の家のイメージ

海を活用したイベント開催

「選ばれる海水浴場」となるためには、海水浴以外の目的での利用も重要となります。そこで、波崎海水浴場やサンサンパークを活用した参加者多数の大きなサーフィン大会などの魅力的なイベントの開催を検討します。



海水浴場を活用したイベントの例

4

自然体感ゾーン

海 + かんじる



波崎海岸砂丘植物公園の魅力向上

波崎海岸砂丘植物公園では、神栖市美化運動推進連絡協議会が波崎第一中学校の生徒とともに花植えを行っています。また、トイレや防犯カメラなどの整備も進んでいます。

より魅力的な植物公園にするため、海との隣接性を活かし、「植物公園から海へつづく道の魅力向上」や「海岸性植物の植栽」、「砂丘キャンプ場としての利用」などの検討を行います。



©NTT InfraNet, Maxar Products. ©Maxar Technologies.



神栖市美化運動推進連絡協議会による花植の様子



海岸性植物の例

波崎かもめ公園等の活用・再整備

波崎かもめ公園は、海をモチーフとしたオブジェや起伏のある施設が特徴です。そこで、市内の南浜にある 1000 人画廊やきらっせ祭りなどの既存イベントとの連携によりアート公園としてデザインするなどが考えられます。

また中州の活用について、国・県とともに様々な可能性を含め検討します。



©NTT InfraNet,Maxar Products.©Maxar Technologies.



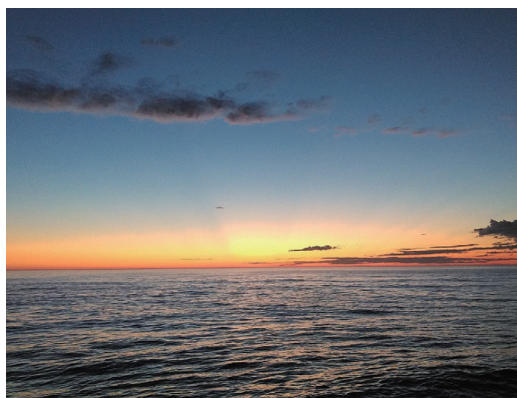
波崎かもめ公園のオブジェなど

自然景観の活用

波崎東部地域は利根川河口部に位置し、海と川越しに見る「日の出」や「夕日」、「夜景」などの魅力的な自然景観を楽しむことができます。自然景観の活用による観光客の誘致を検討します。



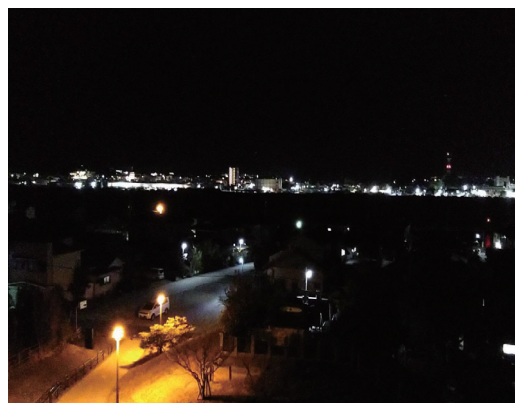
©NTT InfraNet, Maxar Products. ©Maxar Technologies.



日の出



親水公園(夕日)

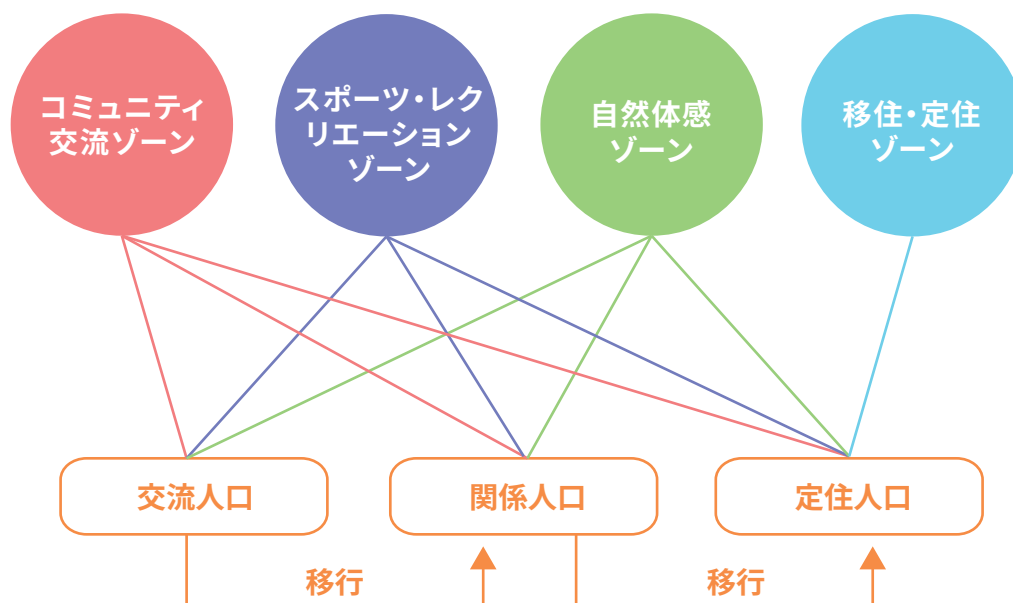


波崎灯台跡公園 (左：昼間の風景、右：夜景)

各ゾーンの想定利用者

各ゾーンの想定利用者は、主に地域住民(定住人口)、観光客(交流人口)、リピーター等(関係人口)です。移住・定住ゾーンは、主に地域住民、それ以外のゾーンでは、地域住民・観光客・リピーター等を想定利用者として定めています。

コミュニティ・交流ゾーン、スポーツ・レクリエーションゾーン、自然体感ゾーンでは、各ゾーンにおける地域との関わりから、観光客(交流人口)からリピーター等(関係人口)へ、リピーター等(関係人口)から地域住民(定住人口)へと、波崎東部地域との結びつきがより強くなることも考えられます。



地域の魅力や地域の人々との触合い

+

波崎東部地域の生活水準の向上

5-2 各ゾーンと周辺自治体との回遊性促進

波崎東部地域内の回遊性を促進するため、各ゾーン間をサイクリングルートでつなぎます。また、シーサイド道路（市道 1-9 号線）などを活用し、神栖市内や周辺自治体の地域資源と波崎東部地域を「つなぐ」ことで広域的な回遊性の促進を図ります。

サイクリング拠点の整備

波崎東部地域は、和歌山県から千葉県銚子市を結ぶ「太平洋岸自転車道」と「常陸利根リバーサイドサイクリングロード」を連結する位置にあります。また、観光客などが波崎東部地域の各ゾーンを回遊する際に、自転車は手軽な移動手段と考えられます。そこで、広域連携・地域内回遊促進のためのサイクリング拠点の整備を検討します。



サイクリングに関する広域連携イメージ



サイクリング拠点のイメージ



©NTT InfraNet, Maxar Products. ©Maxar Technologies.

サイクリングコース

広域連携回遊促進

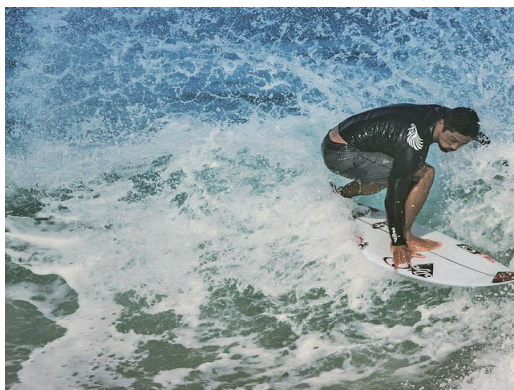
広域的な視点を持つと、波崎東部地域と周辺地域の資源には、「歴史」や「スポーツ」、「釣り・漁港」などつながりがあります。そこで、神栖市内や周辺自治体の資源との連携も踏まえて、波崎東部地域の資源の活用を検討します。



息栖神社



神ノ池緑地



サーフィン



犬吠埼

5-3 まちづくり組織の設立検討

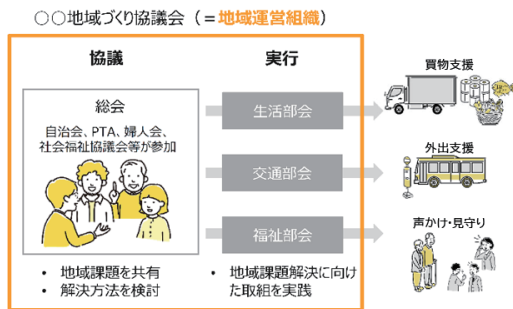
地域活性化の先進的な事例では、地域活性化を行う中心的な組織が存在しています。そこで、波崎東部地域においても活性化を担う中心的な組織である「まちづくり組織」の設立を検討します。

まちづくり組織の例

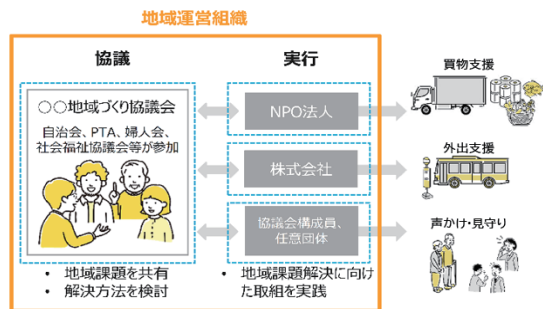
地域運営組織

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。

(一体型のイメージ)



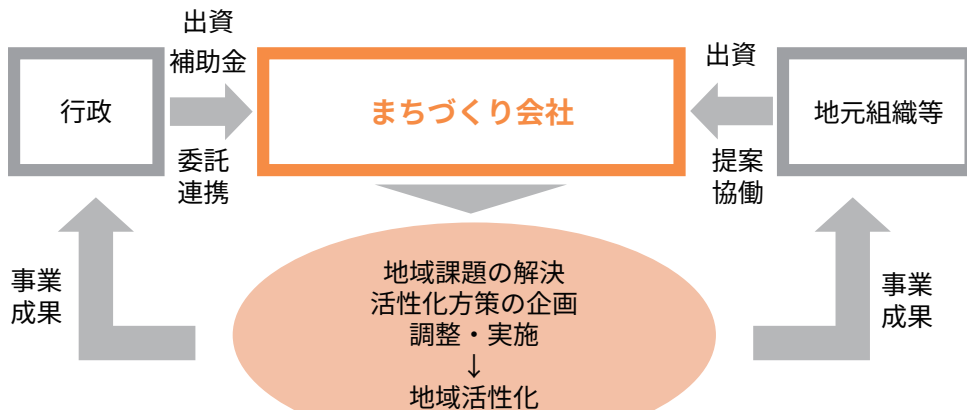
(分離型のイメージ)



地域運営組織のイメージ (出典：総務省)

まちづくり会社

地元組織、行政 (第3セクターとする場合) 等からの出資をもとに、地域の課題解決、活性化方策の企画・調整・実施をする会社。



まちづくり会社のイメージ

06 事業計画

6-1 事業主体

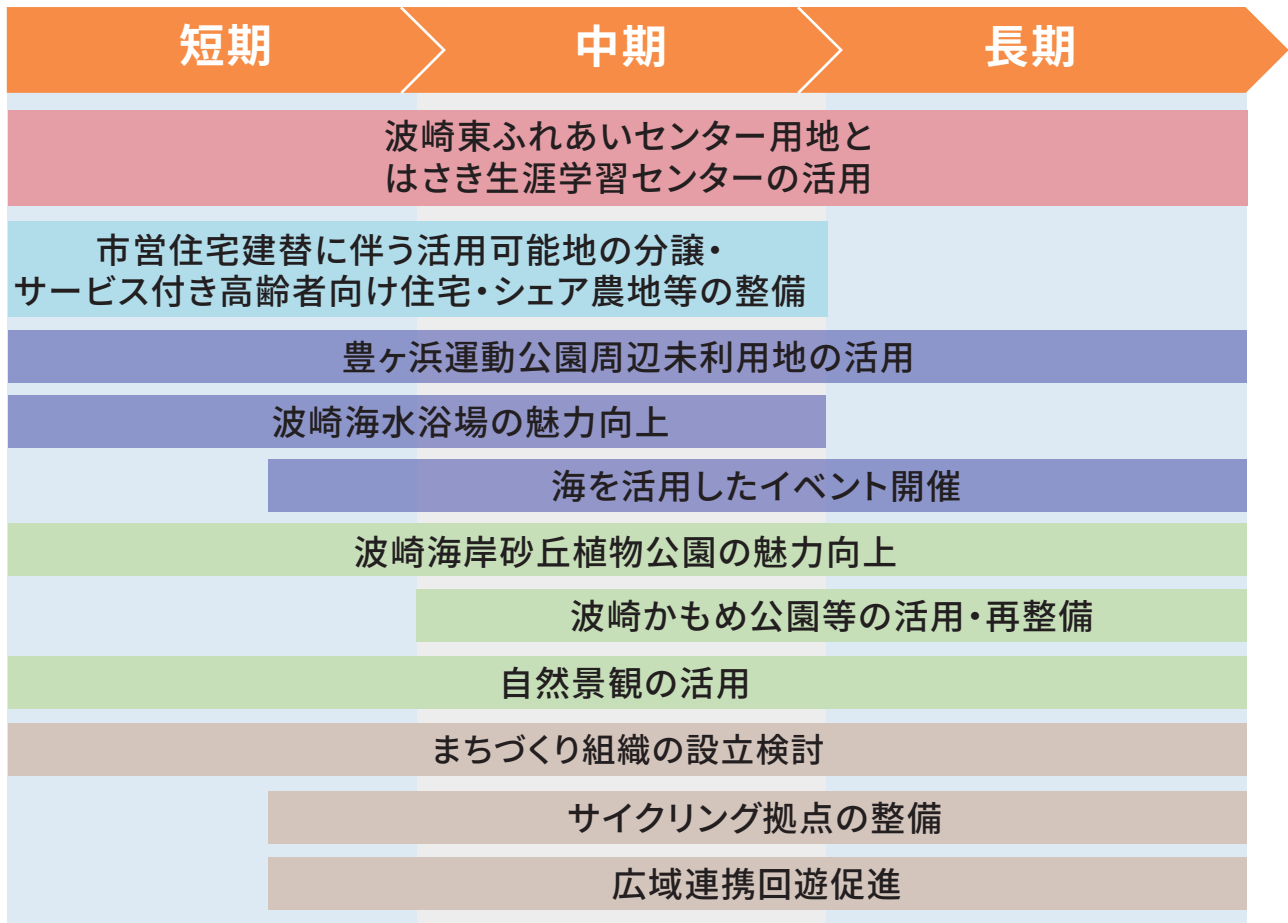
各ゾーンの想定される事業主体は、「計画・企画」段階では、市が中心となり、地元組織等や民間企業の意見などを取り入れながら進めることを想定しています。「施設整備」段階では市が中心となり、民間活力の導入も検討します。「管理・運営」段階では、市や地元組織等、民間企業による施設の管理・運営を想定しています。イベントなどの実施については、定住人口（住民）や関係人口などが企画し開催することも考えられます。前頁に示したまちづくり組織が設立された場合には、関りも検討します。

	計画・企画	施設整備	管理・運営
コミュニティ交流ゾーン	市 地元組織等 民間企業	市 民間企業	市 地元組織等 民間企業
移住・定住ゾーン			市 民間企業
スポーツ・レクリエーションゾーン		市 地元組織等	市 地元組織等 民間企業
自然体感ゾーン			

6-2 事業スケジュール

「短期」「中期」「長期」の3つの軸を基に、事業を進めていきます。短期的に検討を開始する事業としては、「波崎東ふれあいセンター用地とはさき生涯学習センターの活用」、「豊ヶ浜運動公園周辺未利用地の活用」、「自然景観の活用」、「まちづくり組織の設立検討」です。

「市営住宅建替に伴う活用可能地の分譲・サービス付き高齢者向け住宅・シェア農地等の整備」や「波崎海岸砂丘植物公園の魅力向上」、「海水浴場の魅力向上」、「海を活用したイベント開催」については、既に開始されている事業もあるため、それらと連携・調整しながら事業を進めます。



波崎東部地域活性化基本構想検討委員会

■構成メンバー

神栖市文化・スポーツ振興公社	横田 昇一
神栖市商工会	加瀬 尊啓
神栖市観光協会	篠塚 泰輝
きらっせ祭実行委員会	//
波崎旅館業協同組合	梅原 千佳
はさき漁業協同組合	宮本 聡
波崎水産加工業協同組合	宮内 美喜
神栖市美化運動推進連絡協議会	才賀 秀樹
波崎南風サーフィンクラブ	川畑 衛
特定非営利活動法人波崎未来フォーラム	遠藤 道章
一般社団法人かしま青年会議所	山久保直樹
波崎東部区長会	明智 日出夫
地域おこし協力隊	竹中 郁人
神栖市波崎総合支所長	比嘉 年美
神栖市都市整備部長	藤代 尊啓
神栖市産業経済部長	荒沼 秀行
神栖市企画部長	笹本 和好

■開催日

- 第1回：令和4年9月30日
- 第2回：令和4年12月9日
- 第3回：令和5年2月14日

■開催場所

- ・第1回、第2回
波崎総合支所・防災センター
- ・第3回
はさき生涯学習センター

波崎東部にぎわいづくりプロジェクト

■参加対象者

主に日の出町地区、豊ヶ崎地区、明神前地区
にお住まいの方

■開催場所

はさき生涯学習センター

■開催日

- 第1回：令和4年8月9日
- 第2回：令和4年11月23日
- 第3回：令和5年2月23日

庁内検討会

■構成メンバー

地域医療推進課	水産・地域整備課
市民協働課	施設管理課
観光振興課	政策企画課
文化スポーツ課	
住宅政策課	

■開催日

- 第1回：令和4年8月23日
- 第2回：令和4年11月14日
- 第3回：令和5年2月1日

■開催場所

神栖市役所



神栖市
企画部 政策企画課